

「刈谷市障害者計画・刈谷市障害福祉計画・刈谷市障害児福祉計画策定にかかるアンケート」設計意図

1 調査の目的

刈谷市の障害福祉に対する意識や実態等を把握し、「刈谷市障害者計画・刈谷市障害福祉計画・刈谷市障害児福祉計画」見直しの基礎資料とすることを目的として、障害者手帳所持者（身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者）、障害福祉サービス利用者を対象にアンケート調査を実施します。

2 調査対象者

		区分	対象者数	調査数
調査対象者	障害者	身体障害者（18歳以上）	3,917	717
		知的障害者（18歳以上）	694	503
		精神障害者（18歳以上）	1,360	606
	障害児	身体障害者（18歳未満）	107	524
		知的障害者（18歳未満）	345	
		精神障害者（18歳未満）	46	
		手帳未所持（18歳未満）	273	

※令和4年11月1日現在、刈谷市に居住している上記対象者ごとに無作為抽出

※各手帳の重複所持者については、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を優先的に送付

※18歳以上の手帳未所持者は若干名のため除外

3 調査時期

令和4年11月

4 ポイント

- (1) 障害者・障害児の調査は同じ設問を設け、年代別のニーズの違いや特性を把握する。
- (2) 平成28年実施の前回調査と比較が必要なものについては同じ設問にて調査を行うが、基本的に施策活用が想定できないものについては、変更又は削除・新規の設計を行う。
- (3) 当事者のほか、支援者向けの設問を設けることで、支援する側のニーズ等を把握する。

5 設計

区分	障害者	障害児	質問項目	設計の意図等
	1	1	アンケートの回答方法	本人による回答かを把握し、希望を問う設問で本人の意向か代筆者の意向かをクロス集計で把握する。
1 あなた (障害のあるご本人) の年齢、ご家族について	2	2	年齢	回答者の基礎的な情報把握を行うとともに、クロス集計に活用する。
	3	3	性別	
	4	4	居住地	
	5	5	同居者	
2 障害の 状況について	6	6	身体障害者手帳	障害の基本的な状況や、他の制度の認定状況を把握。
	7	7	身体障害の種類	
	8	8	療育手帳	
	9	9	精神障害者保健福祉手帳	
	10	10	難病	
	11	11	障害者医療の受給	
	12	12	高次脳機能障害の関連障害	
	13	-	障害者支援区分認定	
	14	14	医療的ケア	
	15	15	受診している医療的ケア	
16	13	重症心身障害		

区分	障害者	障害児	質問項目	設計の意図等
3 生活支援について	17	16	現在暮らしている場所	現在暮らす場所を把握し、今後の暮らしの希望と比較する。 クロス集計により、暮らす場所によってどんな支援が求められているかを把握する。
	18	-	今後の暮らしの希望	今後の暮らしの希望を把握し、受け皿等の整備の検討に活用する。
	19	29	希望の暮らしを実現する条件、支援	問18とのクロス集計により、希望の暮らしを実現するにあたって求められる条件・支援を把握する。 (障害児は区分4 療育・教育・就学・就職について の設問)
4 日中活動や雇用・就労について(障害者)	20	19	外出の頻度	障害種別、等級別等のクロス集計により、閉じこもりの傾向の人がどのような属性かを把握し、外出支援方法の検討に活用する。 (障害児は区分4 療育・教育・就学・就職について の設問)
	21	20	外出頻度の増加意向	外出の意向を把握し、サービスの充実の検討に活用する。 (障害児は区分4 療育・教育・就学・就職について の設問)
	22	17	外出のときに困っていること	外出の障害を把握し、ハードの整備やサービスの充実の検討に活用する。 (障害児は区分3生活支援について の設問)
	23	-	日中の過ごし方	就労状況を把握し、他の就労への設問のクロス集計へも活用する。
	24	-	就労形態	就労形態を把握し、他の就労への設問のクロス集計へも活用する。
	25	-	就労についての悩み	就労についての課題を把握し、就労支援施策の検討に活用する。
	26	-	就労意欲	就労支援に必要な支援を把握する。就労している人に対しては定着支援、していない人には就労支援の検討に活用する。
	27	-	職業訓練	
28	-	就労に必要な配慮		

区分	障害者	障害児	質問項目	設計の意図等
4 療育・教育・就学・就職について（障害児）	-	18	療育に求めること	療育に求めることを把握し、重点的に取り組むべき療育についての検討に活用する。
	-	21	日中の過ごし方（現在過ごしている場所と希望する場所）	障害のある子どもが日中過ごす場所と、それが希望したものであったかを把握する。
	-	22	希望の場所で過ごしていない理由	希望通りの場所で過ごせていない要因を把握し、各機関の障害のある子どもの受け入れ体制の改善に活用する。
	-	23	望ましい就学環境	どういった就学環境が望まれるか把握する。
	-	24	学校、保育園、幼稚園生活を送る上で充実してほしいこと	各学校等で求められる支援を把握し、力点を置くべき支援・整備の検討に活用する。
	-	25	18歳になるまでの暮らし方	18歳までの暮らしの希望を把握し、受け皿等の整備の検討に活用する。
	-	26	18歳以降の希望する進路	18歳となったときの進路の希望を把握し、拡充すべきサービスの検討に活用する。年齢別・学校別のクロス集計により年齢、学校等それぞれの進路希望の違いを把握する。
	-	27	18歳以降の希望する暮らし方	18歳以降の暮らしの希望を把握し、受け皿等の整備の検討に活用する。
	-	28	将来の就職意向	就労支援に必要な支援を把握し、受け皿等の整備の検討に活用する。
5 相談状況や情報取得について	29	30	悩みや相談したいこと	障害のある人の全般的な課題を把握し、重点的に取り組む施策の検討に活用する。
	30	31	相談相手	相談相手や、相談ができているかを把握する。また、相談のための機関が活用されているのかを把握する。
	31	32	相談先に求めるもの	相談機関の求められる支援について把握し、相談機関の体制整備の検討に活用する。
	32	33	情報入手の方法	情報提供方法の検討に活用する。
	33	34	使用している機器	ICTを活用した支援の可能性を検討する。
	34	35	情報入手のための利用意向	

区分	障害者	障害児	質問項目	設計の意図等
6 保健医療について	35	36	現在の通院状況	通院の頻度や医療の必要性を把握する。
	36	37	医療を受ける上での困りごと	医療を受ける際の障害を把握し、サービスの充実や医療機関との連携の検討に活用する。
7 障害福祉サービス等について	37	38	各サービスの利用意向	各サービスの利用状況と今後の利用意向を把握し、ニーズ量の見込みの算出の検討に活用する。
	38	39	充実・改善を求めるサービス	各サービスの中で特に質的な充実・改善が求められるサービスとその内容を把握する。
8 スポーツ・文化芸術活動について	39	-	現在の活動状況	現在の社会参加の状況を把握する。問 41 とのクロス集計に活用する。
	40	-	今後の活動の希望	社会参加につながる活動への参加意向を把握する。
	41	-	活動参加への条件	問 41 とのクロス集計により、市内に不足している場・機会を把握し、創出・拡充の検討に活用する。また、活動を促進する施策の検討に活用する。
9 権利擁護について	42	40	差別等の経験の有無	障害者差別をなくすための必要な施策の検討に活用する。
	43	41	差別等の場所	
	44	42	コミュニケーションの方法	障害種別のクロス集計により各障害種で利用されるコミュニケーション手段を把握する。
	45	43	情報バリアフリー化	現在実施している支援、実施されていない支援でどういったニーズがあるか把握する
	46	44	成年後見制度の認知度	成年後見制度の認知度を把握し、周知・啓発に活用する。
	47	45	成年後見制度の利用意向	成年後見制度の活用状況、活用意向を把握する。
	48	46	「合理的配慮」に求めること	当事者が求める合理的配慮を把握し、市として合理的配慮の特にどこに重点を置くべきかの検討に活用する。

区分	障害者	障害児	質問項目	設計の意図等
10 地域の福祉について	49	-	受けたいと思うボランティア	今後のボランティアによる支援の内容の検討に活用する。
	50	-	地域で生活するための支援	地域生活でのニーズを把握し、必要な支援内容の検討に活用する。
	51	-	地域活動・行事への参加状況	障害のある人の地域参加の現状と意向、参加のための条件を把握し、障害者の地域共生支援施策の検討に活用する。
	52	-	参加したい地域活動・行事	
	53	-	地域活動参加にあたっての条件	
11 災害時のことについて	54	47	災害時に避難できるか	災害時の支援が必要な人を把握し、特に求められる災害時支援の検討に活用する。
	55	48	一緒に避難してもらう人	
	56	49	災害時に困ると思われること	
12 障害者施策のことについて	57	50	各項目の満足度・重要度	施策重点化の検討資料とする。
	58	51	暮らしやすくなるための要望	生活全般で特に優先すべき市の取組みの検討に活用する。
13 支援者へのおたずね	59	52	主な支援者	回答者の基礎的な情報を把握する。
	60	53	支援者の年齢	
	61	54	介助について、困っていること	家族をサポートするための施策の検討に活用する。
	62	55	相談する相手	介助者の相談相手や、相談ができているかを把握する。また、相談のための機関が活用されているのかを把握する。
	-	56	保護者や家族への支援	保護者や家族をサポートするための施策の検討に活用する。
その他、自由回答				自由に回答できる形式をとり、質問項目以外の意見・要望等を把握する。